

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 上場取引所
 コード番号 4927 URL <https://www.po-holdings.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横手 喜一
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜 (TEL) 03-3563-5517
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	41,313	1.0	4,148	23.5	2,470	△47.1	1,310	△58.1
2024年12月期第1四半期	40,886	△3.0	3,357	△26.2	4,675	△3.2	3,126	14.0

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 1,921百万円(△30.9%) 2024年12月期第1四半期 2,780百万円(1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	5.92	5.92
2024年12月期第1四半期	14.13	14.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	190,142	159,977	84.0	721.83
2024年12月期	200,320	164,916	82.2	744.16

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 159,719百万円 2024年12月期 164,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	21.00	—	31.00	52.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		21.00	—	31.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,000	2.1	14,500	5.0	14,700	△8.6	8,500	△8.5	38.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	229,136,156株	2024年12月期	229,136,156株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	7,865,338株	2024年12月期	7,870,726株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	221,267,177株	2024年12月期 1 Q	221,241,296株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2025年12月期 1 Q 341,210株、2024年12月期 344,998株) が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2025年12月期 1 Q 344,051株、2024年12月期 1 Q 232,807株) が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）におけるわが国の経済は、景気は緩やかに回復していますが、米国の通商政策等による不透明感がみられております。個人消費は、物価上昇の継続等により消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続くなかで、持ち直しの動きがみられております。

国内化粧品市場においては、緩やかな景気回復を背景に、個人消費が持ち直しております。また、インバウンド需要は、前年を上回る状況が継続しております。中国市場においては、政策効果により供給の増加がみられるものの、景気は足踏み状態となっております。

このような市場環境のもと、2024年からスタートした中期経営計画（2024年から2026年）に基づき、4つの事業成長戦略「国内事業の顧客基盤強化、持続的成長と収益性改善」「海外事業の更なる成長と新市場での基盤確立」「育成ブランドの成長を伴う黒字化による持続的収益貢献」「ブランドポートフォリオ拡充と事業領域拡張」と、それを支える持続的な経営基盤の強化として「新価値創出に向けた研究開発力強化」「社会課題対応と独自性を兼ね備えたサステナビリティ強化」をテーマに掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は次の通りとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に基幹ブランドであるORBISブランドの増収影響により前年同期比1.0%増の41,313百万円となりました。営業利益は売上高増による粗利の増加等により前年同期比23.5%増の4,148百万円、経常利益は為替差損益の影響により前年同期比47.1%減の2,470百万円となりました。以上の結果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比58.1%減の1,310百万円となりました。

[業績の概要]

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	40,886	41,313	427	1.0
営業利益	3,357	4,148	790	23.5
経常利益	4,675	2,470	△2,204	△47.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,126	1,310	△1,816	△58.1

[セグメント別の業績]

売上高（外部顧客への売上高）

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	39,552	39,811	259	0.7
不動産事業	499	737	238	47.7
その他	834	764	△70	△8.4
合計	40,886	41,313	427	1.0

セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	3,575	4,132	557	15.6
不動産事業	52	207	154	292.3
その他	51	1	△50	△97.3
セグメント利益の調整額 (注)	△322	△192	129	-
合計	3,357	4,148	790	23.5

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費等を連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.11～12「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報(注2)」をご覧ください。

(ビューティケア事業)

ビューティケア事業では、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、海外ブランドとして「Jurlique」を、育成ブランドとして「DECENCIA」「THREE」「FUJIMI」を展開しております。

POLAブランドは、成長軌道への回帰に向けた事業基盤の構築を進めております。国内事業では、委託販売チャンネルにおける成長店舗群の売上伸長の加速と、その他のチャンネルにおける更なる事業成長の実現に取り組んでおります。1月に発売した「リンクルショット メディカル セラム デュオ」の戦略的な展開等による購入単価の上昇もあり、国内事業全体で前年を上回る実績となりました。海外事業では、引き続き重点市場である中国でブランドプレゼンスの確立のためのハイプレステージ顧客層との接点拡充とCRM強化に取り組んでおりますが、中国を中心とする一部のアジア地域における景気減速の影響が継続しており、海外事業全体で前年を下回る実績となりました。以上の結果、POLAブランドは前年を下回る売上高となりました。一方で、国内事業にて費用効率化を進めた結果、前年を上回る営業利益となりました。

ORBISブランドは、更なる高収益体質を目指して顧客の定着とLTV向上に注力した取り組みを進めております。国内事業では、直販チャンネルにて美白美容液やUVケア等の高機能・高単価商材が好調に推移し、購入単価の伸長に寄与しております。外部チャンネルでは、専用商材である「オルビス ショットプラス」の販路を順次拡張する等、顧客とのタッチポイントを増加しており、好調が継続しております。海外事業では、中国を中心とする一部アジア地域における景気減速の影響が継続しており、海外事業全体で前年を下回る実績となりました。以上の結果、ORBISブランドは前年を上回る売上高・営業利益となりました。

Jurliqueブランドは、引き続き、豪州及び中国を中心としたアジア市場での事業成長に向けた取り組みを進めております。本国である豪州においては、ECチャンネルが堅調に推移した一方で、百貨店・直営店チャンネルで苦戦したことにより、前年を下回る実績となりました。中国においては、景気減速の影響が継続し、百貨店・ECチャンネルともに販売が落ち込んだことにより、前年を下回る実績となりました。以上の結果、Jurliqueブランドは前年を下回る売上高となりました。一方で、組織構造改革を進めており、適切な販管費コントロールを実施したことにより、営業損失は改善しております。

育成ブランドは、DECENCIAブランドにて、更なる成長に向けて安定した顧客構造の構築に取り組んでおります。顧客属性に応じた販売施策の強化により顧客の定着が進み、前年を上回る実績で推移しております。THREEブランドでは、ブランド再生への取り組みを進めております。差別性である「精油」によるホリスティックなアプローチを推進し、顧客基盤の強化に注力しておりますが、新規顧客の獲得が計画に届かず、前年を下回る実績で推移しております。FUJIMIブランドでは、更なる事業規模の拡大に取り組んでおり、前年並みの実績で推移しております。以上の結果に加え、OEM事業の業績影響により、育成ブランド全体では前年を下回る売上高・営業利益となりました。

以上の結果、売上高(外部顧客に対する売上高)は39,811百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は4,132百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第1四半期連結累計期間は、前年に竣工した「ポーラ青山ビルディング」の稼働により、前年を上回る売上高、営業利益となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は737百万円（前年同期比47.7%増）、営業利益は207百万円（前年同期比292.3%増）となりました。

(その他)

その他に含まれている事業は、ビルメンテナンス事業であります。

ビルメンテナンス事業は、ビルの運営管理やリニューアル工事等を行っております。当第1四半期連結累計期間は、リニューアル工事の件数減少等により、売上高、営業利益ともに前年を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は764百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は1百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,178百万円減少し、190,142百万円（前連結会計年度末比5.1%減）となりました。主な増減項目は、投資有価証券の増加1,807百万円、現金及び預金の増加1,575百万円により増加し、一方で有価証券の減少7,996百万円、未収金の減少に伴う流動資産「その他」の減少3,851百万円、受取手形及び売掛金の減少1,225百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5,239百万円減少し、30,165百万円（前連結会計年度末比14.8%減）となりました。主な増減項目は、支払手形及び買掛金の増加204百万円により増加し、一方で未払法人税等の減少2,948百万円、未払金の減少に伴う流動負債「その他」の減少1,671百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,938百万円減少し、159,977百万円（前連結会計年度末比3.0%減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,310百万円、剰余金の配当6,869百万円により減少しております。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年2月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

(参考情報)

前期累計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売上高	百万円 40,886	百万円 83,836	百万円 125,395	百万円 170,359
営業利益	3,357	7,316	10,817	13,810
経常利益	4,675	11,121	11,725	16,083
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,126	7,500	6,948	9,286

前期会計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売上高	百万円 40,886	百万円 42,949	百万円 41,558	百万円 44,964
営業利益	3,357	3,959	3,500	2,993
経常利益	4,675	6,446	604	4,358
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,126	4,373	△551	2,337

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,176	46,751
受取手形及び売掛金	17,465	16,239
有価証券	18,907	10,910
商品及び製品	12,094	12,683
仕掛品	904	812
原材料及び貯蔵品	3,621	3,457
その他	8,047	4,195
貸倒引当金	△96	△69
流動資産合計	106,120	94,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,420	30,967
土地	14,252	14,239
その他（純額）	11,857	11,527
有形固定資産合計	57,530	56,733
無形固定資産		
商標権	19	18
ソフトウェア	11,590	11,610
その他	90	90
無形固定資産合計	11,700	11,718
投資その他の資産		
投資有価証券	15,407	17,215
繰延税金資産	5,220	5,197
その他	4,781	4,731
貸倒引当金	△440	△435
投資その他の資産合計	24,969	26,708
固定資産合計	94,200	95,161
資産合計	200,320	190,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,264	2,468
1年内返済予定の長期借入金	6	7
未払法人税等	4,206	1,258
契約負債	4,795	4,450
賞与引当金	1,578	1,384
その他の引当金	185	70
その他	14,314	12,642
流動負債合計	27,351	22,282
固定負債		
長期借入金	40	36
その他の引当金	106	122
退職給付に係る負債	229	245
資産除去債務	3,885	3,846
その他	3,791	3,631
固定負債合計	8,053	7,883
負債合計	35,404	30,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	80,451	80,451
利益剰余金	78,674	73,114
自己株式	△2,922	△2,912
株主資本合計	166,203	160,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	△33
為替換算調整勘定	△2,106	△1,375
退職給付に係る調整累計額	483	474
その他の包括利益累計額合計	△1,547	△934
新株予約権	236	235
非支配株主持分	23	22
純資産合計	164,916	159,977
負債純資産合計	200,320	190,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)
売上高	40,886	41,313
売上原価	7,360	7,270
売上総利益	33,525	34,042
販売費及び一般管理費		
販売手数料	8,162	7,849
販売促進費	2,688	2,860
広告宣伝費	2,707	2,696
給料手当及び賞与	5,005	5,245
賞与引当金繰入額	811	693
その他	10,792	10,547
販売費及び一般管理費合計	30,168	29,894
営業利益	3,357	4,148
営業外収益		
受取利息	71	77
為替差益	1,220	-
その他	130	60
営業外収益合計	1,423	137
営業外費用		
支払利息	29	29
為替差損	-	1,765
支払手数料	56	11
その他	19	9
営業外費用合計	105	1,815
経常利益	4,675	2,470
特別損失		
固定資産除却損	15	12
投資有価証券評価損	93	24
その他	3	1
特別損失合計	112	38
税金等調整前四半期純利益	4,562	2,432
法人税、住民税及び事業税	774	1,071
法人税等調整額	652	50
法人税等合計	1,426	1,122
四半期純利益	3,135	1,310
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,126	1,310

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)
四半期純利益	3,135	1,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△109
為替換算調整勘定	△364	730
退職給付に係る調整額	6	△9
その他の包括利益合計	△355	611
四半期包括利益	2,780	1,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,800	1,922
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	1,969百万円	1,984百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,552	499	40,051	834	40,886	—	40,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	110	167	411	579	△579	—
計	39,609	610	40,219	1,246	41,465	△579	40,886
セグメント利益	3,575	52	3,628	51	3,679	△322	3,357

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業であります。

2 セグメント利益の調整額△322百万円には、セグメント間取引消去2,336百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,658百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,811	737	40,548	764	41,313	—	41,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	120	173	306	479	△479	—
計	39,864	858	40,722	1,070	41,793	△479	41,313
セグメント利益	4,132	207	4,339	1	4,341	△192	4,148

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業であります。

2 セグメント利益の調整額△192百万円には、セグメント間取引消去939百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,132百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。